

小学校第4学年 国語科学習指導案

1. 単元名と単元目標

(1) 【読む】本をみんなにすすめよう (新しい国語四下・東京書籍)

P72～P77 伝えたい言の葉・百人一首の世界～得意な札を見つけよう

69 番・能因法師、2 番・持統天皇、4 番・山部赤人、5 番・猿丸太夫、7 番・安倍仲麿

15 番・光孝天皇、33 番・紀友則、35 番・紀貫之、79 番・左京大夫顕輔、81 番・後徳大寺左大臣

●「百人一首」を声に出して読んでみよう。

●「十人一首」でかるた遊びをしてみよう。

●いろいろな方法で自分の得意な札を見つけ、百人一首の世界を楽しみましょう。

上の句と下の句の言葉を組み合わせて覚える。えがかれた風景を想像するなどして、短歌全体を暗記する。

●言葉で考えを伝える…考えとその理由(～からです。例 1, 例 2)

(2) 言葉のひびきやリズムを楽しもう (小学校国語四年上・学校図書)

P118～123 短歌 近代短歌六首、「百人一首」九首

7 番・安倍仲麻呂、15 番・光孝天皇、28 番・源宗于朝臣、31 番・坂上是則、33 番・紀友則

4 番・山部赤人、73 番・権中納言匡房、87 番・寂蓮法師、98 番・従二位家隆

かるたを読んで、うたわれている季節やにている言葉をさがし、次のような手順で話しましょう。

①九首から自分の好きな歌を一つ選びます。

②先生が九首以外の新しい歌を一つ音読します。

③その歌と自分の好きな歌の季節や風景、時間などがにっていたときは、手を挙げましょう。

そして、どんなところがにているのか、それが歌のどこから分かるかを発表しましょう。

④発表した人の歌を聞いて、その歌とにているものを選び、その人に続けて発表しましょう。

●九首以外からも自分の好きな歌を見つけ、リズムよく音読しましょう。

●昔の人のものの見方や感じ方について、考えてみましょう。

(3) 単元三 伝わりやすい組み立てを考えて書こう (小学国語四上・教育出版)

P64～P69 短歌の世界【文化】

2 番・持統天皇、18 番・藤原敏行 (秋来ぬと)、97 番・藤原定家 (見わたせば)、近世・近代短歌四首

●声に出して読み、感想をまとめましょう。

●学習した中から、自分の好きな短歌を一つえらび、書き写したり、感想を書いたりしましょう。

(例文) この短歌をえらんだ理由は、～からです。～様子が思いうかぶようになりました。

(4) 単元三 場面の様子をくらべて読み、感想を書こう【読む】(小学国語四上・光村図書)

P84～P85 短歌・俳句に親しもう (一)

志貴皇子 (石走る)、15 番・光孝天皇、21 番・素性法師 (見渡せば) の春の和歌、近世俳句三句

※ 3 下 短歌を楽しもう 18 番・藤原敏行 (秋来ぬと)、5 番・猿丸太夫、7 番・安倍仲麿、良寛

●声に出して読み、言葉の調子やひびきを楽しみましょう。気に入ったものは、覚えて言ってみましょう。

2. 指導目標

【関心・意欲・態度】「百人一首の世界」を楽しみ、古典文学に興味・関心を持たせる。

＜評価規準＞「百人一首」に興味・関心を持ち、学習コンテンツからの様々な歌を知ろうとしている。

【読む・伝国】和歌に描かれた四季の自然に対する当時の人々の感じ方、考え方にふれさせる。

＜評価規準＞学習コンテンツから好きな歌を選び、自分なりの感想をもてる。

【話す・聞く】「百人一首」の和歌に共感したことを友だちと話し合わせたり、リズムを楽しんで音読させたりする。

＜評価規準＞相手に伝わりやすいように発表したり、自分の考え方と比較して友達の発表内容を聞いたりすることができる。

【書く・言語】興味を持った「百人一首」の歌について学習コンテンツで調べ、感想を交流させる。
 <評価>歌の意味を調べ、好きな歌について感想をまとめることができる。

3. コンテンツ活用により期待できる効果

- ・コンテンツを用いて、同じテーマの和歌を読み比べて、古人が育んできた美意識について理解する。また、現代の人々に通じる思いにふれることができる。
- ・「百人一首の世界」から様々な情報を知り、自分の意見をまとめる活動につなげることができる。教科書で紹介されている和歌だけでなく、さらに多くの和歌に親しむきっかけになる。

4. 指導計画（全3時間）

時	学習内容	●コンテンツ ★ワークシートの活用
1	・百人一首の成り立ちについて知る。藤原定家が平安時代から鎌倉時代の歌集から百人の歌人の歌を選んだものであり、ほぼ年代順に並んでいること、歌かるたとして江戸時代から現代まで受け継がれてきた伝統的な遊びであることを確認する。 ・教科書で取り上げられている和歌を音読して、読み方や歌の意味を知り、風景や季節を想像する。 ・どの歌が好きかグループや全体で交流する。	・百人一首についてすでに知っていることや好きな和歌を発表させる。かるたの競技人口は、百万人といわれ、三重県をはじめ海外の人々にも親しまれていることやアニメ「ちはやふる」にもふれる。 ●HOME「9 競技かるた」の写真を提示して紹介する。 ●HOME「3 三重の歌枕」の地元の写真を見せて、三重県も昔から歌に詠まれてきたことを紹介する。 ●HOME「1 和歌の味わい」 ⑤よみ（競技かるた部の高校生の朗詠であることを伝える。）を聞かせ、歌の読み方を確認させる。 - 気に入った歌についてはグループで繰り返し朗詠を聞かせて歌のリズムを楽しませる。 ⑩写真その土地の現在の写真を見せて昔の風景を想像させたる。ゆかりの品などを見せて、昔の生活について説明する。
2	・興味のあるジャンルを調べて、それぞれの歌のよさを発表する。 ・好きな歌を一首選び、書き写して、感想をまとめる。 ・友だちと好きな歌を暗唱し合う。ペアで上の句と下の句を当て合う。	●HOME「1 和歌の味わい」 - 春の歌 夏の歌 秋の歌 冬の歌 - INDEX 花草木の和歌 雪の歌 鳥獣虫の和歌 風の和歌 月の和歌 山の和歌 川の和歌 - のジャンル別ボタンを活用させる。 - 感想については、例文のように書き方を指導する。 「この短歌をえらんだ理由は、～からです。～様子が思いかぶようになりました。」 - 私の好きな百人一首の歌として教室掲示させてもよい。 ●HOME「1 和歌の味わい」 ⑤よみ 上の句 下の句 ボタンを活用させる。
3	・グループでかるた遊びをする。 ・四季の和歌についてのクイズに挑戦する。	●HOME「10 百首ゲーム」は 20 枚の取り札がランダムに出てくるので各自で練習ができる。まだ歌を覚えていない児童は、上の句索引で一首全体が確認できることを教えておく。 ●HOME「11 百首クイズ」<秋編><春夏冬編>